

私立大学図書館協会 2011年度第3回常任幹事会議事要録

日 時 2011年12月2日(金) 14時25分～17時05分
場 所 広島修道大学 図書館会議室
出席者 名簿のとおり

議 事 次 第

議事に先立ち、会長校挨拶の後、東地区部会長校委員の交代が報告された。新任の明治学院大学図書館・萩原次長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、石川巧立教大学図書館長が担当した。

1. 報告事項(2011年8月～11月)

(1) 協会会務報告

会長校(阿久津)から配付資料(p.4-5)にもとづき報告が行われた。特に2011年度事業計画にあげていた私立大学図書館協会史「東京私立大学図書館協議会より第十五回総会まで」(1956)をPDF化し、デジタルアーカイブとして私立大学図書館協会ホームページに掲載したとの報告がなされた。

(2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校明治学院大学(鈴木)から配付資料(p.6～7)にもとづき報告が行われた。

(3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校広島修道大学(社家)から配付資料(p.8～14)にもとづき報告が行われた。

(4) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会報告

会長校(阿久津)から配付資料(p.15)にもとづき、協会賞の受付期間は2012年1月末であるが、現時点で1件の推薦があることが報告された。

2) 研究助成委員会報告

会長校(阿久津)から配付資料(p.15)にもとづき、研究助成の受付期間は12月15日であるが、現時点で応募はないとの報告がなされた。

3) 国際図書館協力委員会報告

会長校(阿久津)から配付資料(p.15)にもとづき、海外派遣研修に8名の応募

があり、選考の結果、8名全員の参加を決定し、12月4日に出発するとの報告がなされた。また、海外派遣研修に2名の応募があり、選考の結果、1名を決定したこと、および11月末締切の海外認定研修に6名の応募があったことが報告された。

4) 協会ホームページ委員会報告

会長校（阿久津）から、配付資料(p. 16-17)にもとづき、ホームページのリニューアルにむけて検討を進め、企業2社によるプレゼンテーションを実施したこと等の報告がなされた。（協議事項2. 「協会ホームページの充実について」を参照のこと）

(5) 協会関連事項報告

会長校（阿久津）から配付資料（p. 17-18）にもとづき、以下の報告がなされた。

1) 国公立大学図書館協力委員会報告

2011年12月8日に実施予定（於・筑波大学大塚キャンパス）

2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

2011年12月8日に実施予定（於・国立国会図書館）

3) 後援・共催事項

①第5回資料保存シンポジウムの後援

配付資料にあるとおり、名義使用のみで経費は発生しない。

(6) 2011年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（阿久津）から配付資料（p. 19-21）にもとづき、10月1日付以降の異動について報告がなされた。

(7) 2012年度末までの行事・会議予定（案）

会長校（阿久津）から配付資料（p.22）にもとづき、標記について報告がなされた。2012年度第1回常任幹事会は、2012年4月13日（金）に立教大学において開催することが確認された。

(8) 会長校から委員会への検討依頼（協会ホームページ委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会）

会長校（石川）から、会長名で協会ホームページ委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会の各委員会に、ご検討いただきたい事項について、各委員長宛てに文書で依頼を行った旨の報告とその内容、趣旨説明がなされた。会長校（阿久津）からの補足説明に引き続き、意見交換を行った。

その結果、研究助成委員会が所轄する研究助成に関して、昨今の大学図書館を取り巻く状況に鑑みて、従来のいわゆる研究は申請が難しい現状がある。ついては、他大学の参考となりうる先進的な取り組みや実践活動を支援できるような新たな枠組みが必要ではないか等の意見が出された。

なお、各委員会に提示した課題については、委員会からの検討結果の報告を受け、

本年度第 2 回東西合同役員会にて方針を確定し、必要に応じて総会での規程改正を行う予定であることが確認された。

(9) 【国公私】 JUSTICE の安定的・持続的な活動体制の確立に向けて

会長校（石川）から、配付資料（p. 44-45）にもとづき、国公立大学図書館協力委員長から国公私の各協会会長に対して、標記の件について通知があったとの報告がなされた。その際、この通知は、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）・運営委員会から国公立大学図書館協力委員会常任幹事館に対して行われた、「JUSTICE の安定的・持続的な活動体制の確立に向けて」の説明・報告時の資料がそのまま添付されているものであること、また、12 月 8 日の国公立大学図書館協力委員会や連携・協力推進会議の中で今後議論されていくことになる旨の説明もなされた。

これらの説明を受け、意見交換を行った。その結果、私大においては、JUSTICE に加盟にしているが私大図協には加盟していない図書館やその逆の図書館があること、私大図協加盟校の中でも様々な利害に関する意見が考えられること、また、経費負担をどうするかは一様にいかないこと等の意見がだされた。これらの意見を 12 月 8 日の国公立大学図書館協力委員会において、会長校から報告することとなった。

(10) 日本図書館協会における「公益社団法人」移行に伴う変更について

会長校（石川）から、次の報告がなされた。

- ・日本図書館協会の公益社団法人移行に伴い、加盟団体の代表者の名称が「評議員」から「代議員（社員）」となり、大学図書館枠の定数も 10 名から 7 名となる。
- ・新たな代議員選出における大学図書館枠の国・公・私 の 割 り 振 り に つ い て 、 大 学 図 書 館 部 会 での審議の結果、国立 3 館、公立 1 館、私立 3 館と決定した。
- ・3 名の代議員の選出に関しては、12 月中旬に日本図書館協会から依頼がなされる予定。

以上の報告の後、会長校（石川）から、会長校、東西部会長校から 3 名を選出したい旨の提案があり、承認された。

2. 協議事項

(1) 2011 年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

会長校（阿久津）から、配付資料（p. 24-26）にもとづき、2011 年 11 月 11 日（木）での中間決算報告および今後の執行予定額などを含む決算見込みについて、説明ならびに提案がされた。

協議の結果、提案どおり承認された。

主な内容

- ・通信費が、東日本大震災関連文書の送付等により、予算額を上回る見込み
- ・「東日本大震災」被災地域加盟館の支援費として、年会費免除額（1,189,000 円）、総会・研究大会特別招待額（126,000 円）、アンケート結果による支援費（5,607 円）
- ・海外集合研修費用が、当初予定していた人数より多く採用したこと、派遣先が米国東

部地域となったこと、航空チャージ料の高騰、安全確保のためのバス移動費用の発生等により、支出が予算を大幅に上回る予定である。

(2) 協会ホームページの充実について

会長校（石川、阿久津）から、配付資料(p. 27)をもとに、2011 年度事業計画の(10)として掲げた「協会ホームページの充実」について、ホームページ委員会と共に検討した具体策について説明ならびに提案がなされた。また、協会ホームページを用いた活動活性化について、これまで総会や部会総会で質問や指摘がなされているので、本件については、東西合同役員会で報告了承を受けたのち、一斉メールで全加盟校に通知したい旨の提案もなされた。

協議の結果、提案どおり承認された。

(3) 寄贈資料搬送事業実施要領改訂（案）について

会長校（阿久津、伊藤）から、配付資料（p. 28～33）にもとづき、国際図書館協力委員会からの申し出を受け、寄贈資料搬送事業実施要領の一部改訂を提案する旨の説明と提案がなされた。加えて、本件は、規程の改正ではなく、実施要項であり、また本文中に改廃についての記述がないため、常任幹事会での決定としたい旨の提案がなされた。

協議の結果、提案どおり承認された。

主な改訂

- ・費用負担の明記（特に関税・現地保管費 上限 10 万円）
- ・その他、現状の運用と実施要領とで齟齬が生じている部分

(4) 2012 年度事業計画（案）

会長校（石川）から配付資料（p. 34～35）にもとづき、標記について趣旨説明ならびに提案がなされた。引き続き会長校（阿久津）から、各事業について（特に協会委員会活動の推進、「震災」に関する座談会の実施と配信、他機関との連携・協力、会務の整理等）の補足説明がなされた。

協議の結果、提案どおり承認された。

(5) 2012 年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（阿久津）から配付資料（p. 36～37）にもとづき、標記について説明と提案が行われた。2012 年度事業計画案に上げられている会務の整理（紙媒体の電子媒体化等）の経費が現行案に計上されていないという意見があり、それらの経費を追加することで承認された。

1) 一般会計

- ①【収入/会費】：現在の加盟校数 527 校を基礎数として算出
- ②【支出/委員会費】：従来は事業費（委員会活動費）として計上されていた研究助成・ホームページ、国際図書館協力の 3 委員会の各 25 万円を運営費の委員会費に移す。

- ③【支出/協会 HP リニューアル費】：300 万円。2012 年度リニューアルのための Web 製作費
- ④【支出/協会 HP 更新サポート費】：新規 年間保守費用（定期更新等、リニューアル時より適用）
- ⑤【支出/「震災」に関する座談会の実施と公開】：新規 50 万円を計上

2) 研究助成特別会計

- ①【支出/研究助成金】：現行では 1 件採択予定で計上。今後の採択件数に応じて計上額を変更する。

3) 国際図書館協力特別会計

- ①【収入/事業収入】：海外集合研修参加費は 0 円を計上(2011 年度 35 万円)。海外集合研修について検討中のため。
- ②【支出/シンポジウム運営費】：2011 年度予算より 60 万円増額の 150 万円を計上。実施内容の充実のため。
- ③【支出/海外集合研修補助金】：2012 年度予算には計上しない。研修検討中のため。

(6) 第 73 回（2012 年度）総会・研究大会について

会長校（石川、阿久津）から配付資料（p.38～39）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案どおり承認された。

今後の予定

2012 年 1 月 16 日 本年度総会当番校および次期総会当番校、会長校による引継ぎ打合せ
2012 年 3 月 9 日 第 2 回東西合同役員会に予算案提出。

3. 懇談事項

- (1) 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について
- (2) 国際図書館協力委員会 2012 年度実施事業について
- (3) 「委員会活動費」の予算・決算上の扱いについて
- (4) 「会報」の保存と発送の簡易化について

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

<配付資料>

- 資料 1-1 協会ホームページ委員会への会長校からの検討依頼文書
- 資料 1-2 研究助成委員会への会長校からの検討依頼文書
- 資料 1-3 国際図書館協力委員会への会長校からの検討依頼文書
- 資料 2-1 国公立大学図書館協力委員会からの「JUSTICE 安定的・持続的な活動体制の確立に向けて（案）」についての協力依頼

- 資料 2-2 JUSTICE「安定的・持続的な活動体制の確立に向けて（案）」
- 資料 3 研究助成委員会選出ローテーション
- 資料 4-1 海外研修（集合・派遣・認定）実績
- 資料 4-2 国際図書館協力シンポジウム実施一覧
- 資料 5 「委員会活動費」の取り扱いについての変更（案）
- 資料 6-1 私大図協資料の保存と「会報」の発送（案）
- 資料 6-2 私立大学図書館協会会報の配付の現状

以上